

### 3月定例記者会見要旨

定例記者会見を始めさせていただきます。

年度は、平成30年度に遷りますが、平成29年度中は記者の皆様はじめ、報道関係の皆様には、本市の話題を多数ご取材をいただき、ありがとうございました。お陰様をもちまして、本市の情報を年間を通して多くの方々に目にさせていただくことができました。この場をお借りして改めて御礼申し上げますとともに、引き続きご取材をいただけるよう、新年度も力を入れてまいりますので、よろしく願い申し上げます。

さて、春分の日に東京で雪が降るなど「寒の戻り」もありましたが、いよいよ春らしい暖かい日が続く季節となってきました。

今年は寒い冬だったという割には、全国的に桜の開花が平年よりかなり早いといわれていますが、龍ヶ崎では早咲きの「般若院のしだれ桜」はほぼ例年通りの開花で、24日・25日の夜にはライトアップもされ、市内外からの多く見物客で賑わいました。いよいよ次はソメイヨシノですが、例年ですと、このしだれ桜よりおよそ1週間遅れて満開を迎えます。

「世の中に たえて桜のなかりせば 春のこころはのどけからまし」という在原業平の歌のように、浮き立つような気持ち中にも気ぜわしさを感じる季節ですが、これも日本の春ならではの風情でもあり、その儂さも含めて、龍ヶ崎市の美しい季節が、1日でも長く続くことを願っています。

本市には、県の天然記念物で樹齢450年以上の「般若院のしだれ桜」の外にも、4月1日に学校主催の桜まつりが予定されている、樹齢70年以上のソメイヨシノの大木約260本が校庭を取り囲む「愛国学園大学附属龍ヶ崎高校」、西暦2000年記念で市民が植樹した500本の桜が見事に咲き誇る「龍ヶ岡公園」をはじめ、森林公園、女化神社、愛宕神社など、桜の名所が数多くございますので、市民の皆様とともに、これらの名所を巡り、情緒あふれる龍ヶ崎を満喫する春の盛りになることを楽しみにしています。

それでは、本日の情報提供を始めさせていただきます。

はじめに、その桜のイベント「桜まつり」についての情報です。市観光物産協会では、毎年4月に、今も紹介した市の桜の名所のひとつ龍ヶ岡公園で「桜まつり」を開催しております。

今年の開催日は4月7日の土曜日となりまして、毎回好評をいただいております龍ヶ崎コロッケを始めとした美味しい物産品の販売や、和太鼓やコンサート、ダンス等のステージイベントのほか、3代目龍ヶ崎観光アンバサダーの任命式も予定しております。

この観光アンバサダーにつきましては、市の観光資源や物産品を、広く市内外へPRすることを目的に、同観光物産協会が募集を行ったもので、このほど新たに3名の観光アンバサダーが決定いたしました。

決定した3代目アンバサダー3名と、引き続き活動していただく2代目アンバサダー3名には、今後も龍ヶ崎を広く周知するとともに、今年の桜まつりでも、お客様に龍ヶ崎のPRを行っていただく予定です。

ご来場の皆さまが楽しい1日を過ごせるよう、イベントを盛り上げてまいりますので、ぜひ、多くの皆様にお越しいただければと考えております。

続きまして、市内若柴町の西洋館の調査報告会についての情報です。

市内若柴町字長山前に遺るレンガ造りの西洋館は、土佐藩家老の重臣で、明治期に後藤象二郎や板垣退助らとともに活動し、実業界・政界で多くの功績を残した「竹内綱（つな）」と、その長男「明太郎（めいたろう）」らが設けた竹内農場内の別荘で、敗戦後の日本を立て直した首相吉田茂は竹内綱の5男にあたります。

これらの人物やその歴史的経緯、施設等については、平成28年9月から市が調査を行ってきましたが、昨年4月からの市生涯学習課の資料調査や業務委託による測量調査等では、新事実を含む多くの発見があったことから、市でその調査報告書を作成し、併せて市民の皆様を対象とした報告会を開催

するものです。

期日は4月21日の土曜日、会場は市役所附属棟で、当日は生涯学習課からは竹内綱のご子孫から寄贈された関係資料等の調査結果についての報告を、測量調査等の委託業者からは、西洋館が東京駅丸の内駅舎など、官公庁の建設などに重用されていた「上敷免製(じょうしきめんせい)」のレンガで建てられていることなど、施設自体の調査結果についての報告を行う予定です。

次も、龍ヶ崎市の歴史の話が続きますが、冊子『龍ヶ崎の水戸街道と古(こ)水戸街道』についての情報です。

この冊子は、水戸街道と古水戸街道の道筋とその界隈に現存する遺物や遺構を調査してまとめたもので、市指定文化財の現況調査や若柴宿散策会など、様々な環境保全活動等を行っていただいている「龍ヶ崎市民環境会議、文化環境部会」の皆さんが、4年を超える期間をかけて、自らの足で、聞き取り調査等や編集を行ったものです。

取材にあたっては、建造物等の所有者に取り組みの趣旨を説明しながら、一軒一軒取材交渉を行うなど、大変苦勞をされたとのことで、こうした苦勞の甲斐あって、地元の人しか知らないようなお話が聞けたり、普段は一般に開放していない建物の中を見せてもらえたりと、たくさんの発見もあったそうです。

こうした貴重な情報が盛り込まれた、充実した内容となっておりますので、ぜひ、市内・市外を問わず、多くの方にご覧いただき、歴史散策等の一助として活用いただくなど、龍ヶ崎の魅力再発見に繋がることを願っています。。

次に「市役所男性職員の育休取得率3年連続100%達成」についての情報です。

本市ではまちづくりの方向性を示す最上位計画「第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン」の中で、「ふるさと龍ヶ崎戦略プラン」に引き続き、子育て環境

日本一を掲げ、各種取組を行っておりますが、龍ヶ崎市役所においても「子育てをする男性職員が働きやすい」「子育てしやすい」環境を整えるために様々な取組みを実践してきました。

これまでの取組みとしましては、育児経験者と育児休業の取得を考えている職員とを集め、話し合いの場を設けたり、育児休業の取得を考えている職員と育児経験者をマッチングさせて育児に対する不安を解消させる「育児休業メンター制度」の導入などを行ってまいりました。

こうした取組み等により、龍ヶ崎市役所内では、周りの職員が男性職員の育児休業を快く受け入れる体制や環境が整っており、「男性職員に子どもが生まれたら、育児休業を取得するのは当たり前！」という考え方が市役所内どの部署においても浸透しております。

こうした諸々の取組みにより、平成27年度から育児休業取得率3年連続100%を達成できる見込みとなっており、これにより、男性職員の育児休業取得率は3年連続日本一となります。

以上で、私からの本日の情報提供を終わりとさせていただきます。

詳細につきましては、このあと担当から説明いたします。